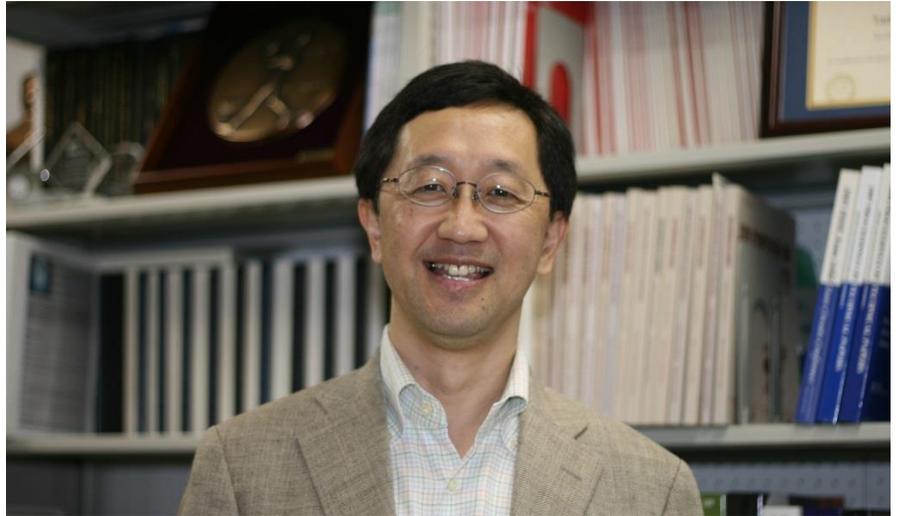


A Message from Prof. Kuroda



“Life is a journey.”

Franco Maloberti教授が人懐っこい笑顔で言いました。大病を克服したAsad Avidi教授も大きく頷きます。

“So we should not stop!”

先日、シンガポールのディナーの席で交わした会話です。二人ともIEEE フェローでアナログIC設計の世界的権威です。話題は、政治、文化、経済と際限なく、ヨーロッパからアフリカ、中近東を回り、日本、アメリカと一周した後に、昔話に花が咲き、Francoがしみじみと語った言葉でした。

10月に研究室で小旅行した日光東照宮にも、徳川家康の遺訓が書かれていました。

「人の一生は、重荷を負うて遠き道をゆくがごとし。急ぐべからず。」

そういえば、私も8月にソウルの喫茶店で同じようなことを言いました。

「継続は力です。楽しくないと続きません。だから、楽しむことです。」

相手は、Yoo研究室卒業生のSungdae Choiさん(Hynix)とDonghyun Kimさん(Samsung)。

彼らには心に残る言葉だったようです。

私は30年間、IC設計の世界を心から楽しんできました。これからも楽しみたいと思っています。今年、アメリカのフォーブス誌が選ぶ革新的アイデアを持つ研究者9人の1人に選ばれました。ニューヨークから電話インタビューを延べ8時間受けました。皆さんも仕事を楽しみながら続けて下さい。それが大成する道だと思います。

研究室に3人のポスドクが加わりました。高麗大学、ハーバード大学、シンガポール大学でPhDを取ったエリート達です。世界中から優秀な研究者が集まってきます。堀君、Vishal、Axiang、新津君も今年学位を授かる見通しです。

在校生たちも頑張っています。ISSCC2010では3件の論文を発表します。VLSI回路シンポジウム2009では4件、CICC2009では2件の論文を発表しました。新聞発表も17件行いました。詳しくは、研究室Webをご覧ください。竹君や山下君が研究室Webを刷新してくれました。研究室も改装しました。日本を代表するデザイナーの谷内田孝氏に設計していただきました。ぜひ研究室にも立ち寄ってください。

黒田研は今年で10周年を迎えます。卒業生は来春で累計38人になります。皆さんの活躍が何より嬉しい知らせです。

最後に、今回の編集の労を取ってくれた花井君、齊藤さん、相川君に感謝します。

2009年12月 黒田忠広